

2019 年度

日本フランス語フランス文学会
中部支部大会

12月7日（土）

開催校 名城大学
ナゴヤドーム前キャンパス西館

*塩釜口キャンパスではありません

〒461-0048 愛知県名古屋市東区矢田南4丁目1-102-9

Tel: 052-832-1151（代表）

プログラム

*受付開始 (12:20)

総合司会 名城大学 藤田 衆

*開会の辞 (12:50)

中部支部長 小栗栖等

*主催校挨拶

名城大学 藤田 衆

*研究発表 (13:00~15:00)

1

司会 名古屋大学 鳥山定嗣

19世紀リアリズムとボードレール——美術批評を中心に

愛知学院大学(非常勤講師) 佐々木 稔

2

司会 金城学院大学 北原ルミ

メルヴィルによる『海の沈黙』をめぐって

愛知大学 永田 道弘

3

司会 名古屋大学 重見 晋也

西田とベルクソンにおける純粹経験

愛知県立大学(非常勤講師) 長谷川暁人

4

司会 南山大学 真野 倫平

ラフカディオ・ハーンのとテオフィル・ゴーティエ受容

—富山大学附属図書館ヘルン文庫書き込み調査報告—から

富山大学 中島淑恵

*休憩 (15:00~15:30)

*講演 (15:30~16:50)

司会 名古屋大学名誉教授 松澤 和宏

De Shakespeare à Montaigne: Stratégie du miroir ?

Jean-François CHAPPUIT

*総会 (17:00~18:00)

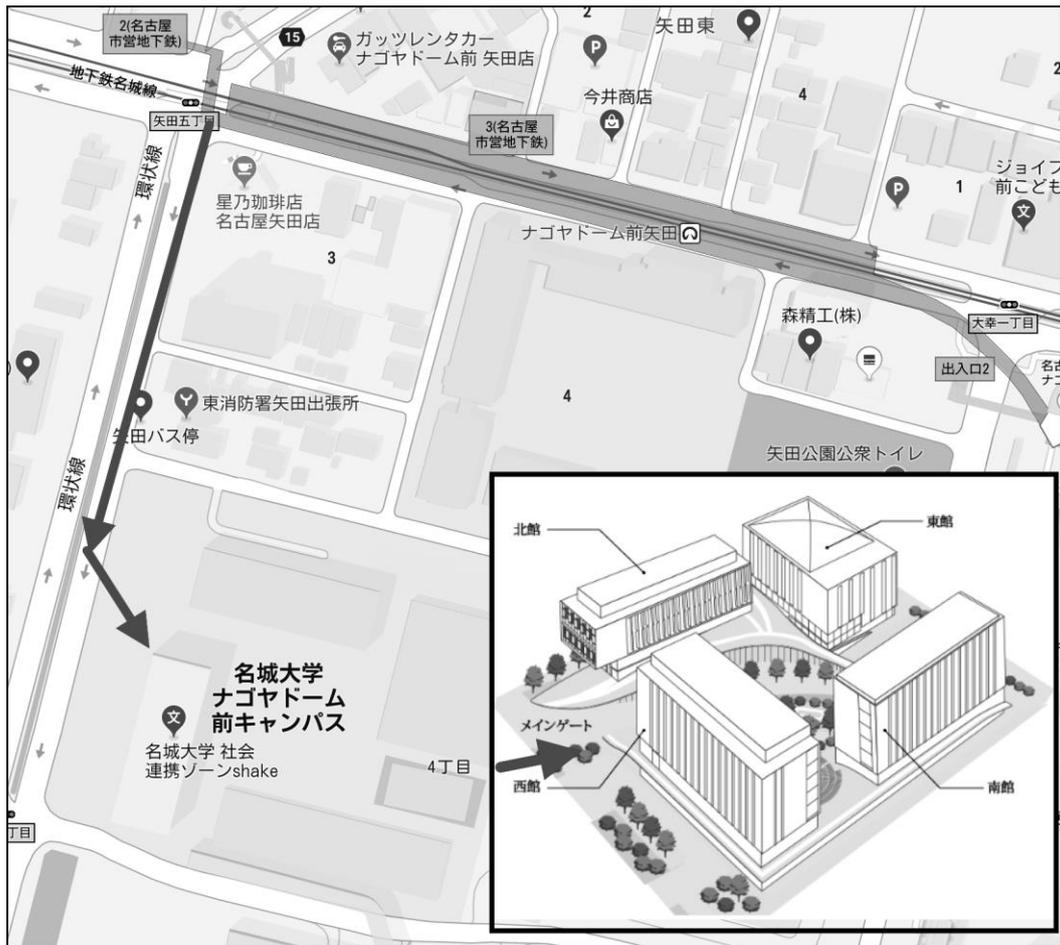
議長 名古屋大学 小栗栖 等

*閉会の辞 (18:00~18:10)

名城大学 足立 和彦

*懇親会 (18:15~20:30)

会場 ナゴヤドームキャンパス MU ガーデン



地下鉄名城線ナゴヤドーム矢田駅 2番出口下車徒歩すぐ

ジャン＝フランソワ・シャプイ Jean-François CHAPPUIT

ロンドン・メトロポリタン大学卒業（英文学・仏文学学士）、並びにロンドン大学にて教員資格 P.G.C.E. を取得後、パリ・第7大学にて英文学を専攻し、上級教員資格及び博士号取得。パリ・ミシュレ高校教諭などを経て、ヴェルサイユ・サンカンタン・アン・イヴリーヌ大学助教授。現在は、愛知大学非常勤講師。著書にシェイクスピア『尺には尺を』を歴史的・政治的観点から分析研究した、*Measure for Measure, Atlande, Neuilly sur Seine*, 2012 がある。

シャイクスピアからモンテーニュへ：鏡の戦略？

『あらし（テンペスト）』（1611年）の作品中、登場人物ゴンザロは理想的な社会を思い描くが、それは、モンテーニュが『エッセー』第1巻第31章「食人種について」の中で描写する食人種的生活様式をモデルとしている。二つのテキストには明らかに語彙の類似が見られるが、各々のテキストにはそれぞれの特性があるのだろうか？あるとすれば、それは、戦略があることを示しているのだろうか？そこから、文学の役割についての共通見解を導き出すことができるだろうか？

De Shakespeare à Montaigne : Stratégie du miroir ?

Dans *La Tempête* (1611) le personnage Gonzalo envisage une société idéale qui a pour modèle le mode de vie des Cannibales tel que Montaigne le décrit dans le chapitre éponyme des *Essais*. En dépit d'une similarité lexicale évidente, chaque texte a-t-il une spécificité propre ? Est-ce la marque d'une stratégie ? Peut-on en déduire une conception commune de la fonction des Lettres ?